

明日を創る医療総合誌

# C LINIC magazine

2014  
MAR  
3

No. 537

[特集]

## 肝炎克服カウントダウン

**C型肝炎治療の変遷と展望**

関西労災病院 林 紀夫氏

**B型肝炎治療の現状と今後**

武蔵野赤十字病院 黒崎雅之氏

**残された課題 NASHの診断と治療**

大阪市立大学 河田則文氏



対談シリーズ

地域中核病院 医療再生への挑戦 [最終回]

北 徹氏(神戸市立医療センター中央市民病院)

VS 小笠原敬三氏(倉敷中央病院)

[緊急レポート]

中小医療機関は

医療事故調査制度とどう向き合うか



## 大日本住友製薬

### iPSで製造、分析技術培い 「細胞医薬に幅広く応用」

大日本住友製薬の多田正世社長は2月4日、大阪市内で記者会見し、iPS細胞等を用いた再生・細胞医療の事業化についての見通しを語った。

多田社長は「先日のSTAP細胞の発表によって、あらためてiPS細胞にも脚光が当たっている」と述べるとともに、「わ



多田正世氏

れわれがiPS細胞で培うであろう製造技術、分析技術などは、新しい技術を含めた細胞医薬で幅広く使えるだろう」と自信を示した。

iPS細胞を用いた再生医療では、加齢性黄斑変性の網膜再生で理化学研究所の高橋政代氏らが臨床研究を行っているが、同社は基礎技術を有するヘリオス社と2月末に合併会社を設立する。さらに慶應義塾大学の岡野栄之教授とiPS細胞利用の脊髄損傷再生医療で共同研究を実施しているほか、理化学研究所とは視神経の再生でも共同研究を実施中で、「どちらも臨床応用まで5年くらいかかるだろう」と見通しを示した。一方、米国サンバイオ社とは、間葉系幹細胞の他家移植による脳梗塞治療用細胞医薬品SB623を、米国、カナダで開発・販売するオプション契約を締結。再生・細胞医薬のトップランナーを目指して研究開発を進めている。

## メディネット

### 「がん医療への怨念が背景に」 長尾和宏氏が“近藤誠現象”を分析

メディネットは2月6日、都内でがん医療に関するメディア勉強会を開



長尾和宏氏

催、兵庫県尼崎市で開業している医療法人社団裕和会長尾クリニック院長の長尾和宏氏が「がん医療の方向性と課題～“近藤誠現象”から“遺伝子治療革命”まで～」と題して講演した。

長尾氏は、慶應義塾大学病院の近藤誠氏が著した『医者に殺されない47の心得』などがミリオンセラーになるなど、世間の関心を集めていることに対し、「近藤氏は早期にがんが見つかったとしても放置することを勧めているが、早期に発見し、治療すれば助かる人は大勢いる。医学的には全くのでたらめであり、医療界は相手にもしていないが、医療界が反論しないことにより“信者”が増加してしまっている」と指摘した。

一方、近藤氏の著作が支持を集める背景については、検証すべきだと強調。「近藤氏の著作物に対するレビューを読むと、『抗がん剤の副作用に泣き続けた』、『主治医が話を聞いてくれなかった』、『最期まで抗がん剤を打たれた』、『緩和ケアを受けられなかった』などのエピソードを綴っている人が多い。医療へのこうした怨念が“近藤誠現象”の背景にあるのではないかと分析し、「がん医療界は患者側からの指摘に対しては目を背けずに、反省すべき点は反省することが重要」と語った。

## 日本医師会

### 診療報酬改定の答申受け会見 消費増税対応 初・再診料への配分を評価

日本医師会、日本歯科医師会、日本

薬剤師会の三師会は2月12日、診療報酬に関する答申が取りまとめられたことを受け、会見を行った。この中で日本医師会会長の横倉義武氏は、「厳しい国家財政の中で、国民との約束である税と社会保障の一体改革へ向け、第一歩を踏み出した改定だった」と総括し、全体として評価する姿勢を示した。

消費税率8%への引き上げに伴い、医療機関等の仕入れに係る消費税負担が増加することに対しては、初・再診料等への点数上乘せの対応がとられることになった。これに対し、横倉氏は「消費税増税分の補填を個別診療料に振り分けてきた従前の配分は、不公平感があった」とし、診療報酬のベースとなる初・再診料等への配分を評価。一方で、今回の消費税増税への対応は、一時的なものであることを改めて強調し、「10%に向けては、還付措置などのアイデアの検討を含めて三師会で共同歩調をとり、抜本的な税制における改革を強く求めていく」と述べた。

また、今回の診療報酬改定・消費税増税においては、診療報酬での底上げとは別に、地域包括ケアの充実のために約900億円の基金が創設される。横倉会長は、「この実現には医療計画を立てる都道府県と、各都道府県医師会の連携が非常に重要」との考えを示し、日本医師会としても円滑な連携を支援する「地域包括ケア推進室」を設置することを明らかにした。

## アラガン・ジャパン

### 人工乳房が保険適用に 大きさなど異なる346種類そろそろ

アラガン・ジャパンは1月8日にシリコーンゲルを充填した人工乳房「ナトレル®410 プレスト・インプラント」